

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と20年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	北野下富線道路築造事業	所管	道路公園部計画道路整備課 Tel 2998-9377
-----	-------------	----	-------------------------------

事業目的 (何の為に 行うか)	幹線道路の環状型ネットワークを図り、交通渋滞の緩和を図る。
-----------------------	-------------------------------

事業の 具体的 な内容	計画 全体	全体延長が5500mと長いため、事業区間を分け事業の効率化を図る。平成16年度から平成21年度にかけて、市道3-5号線から都市計画道路松葉道北岩岡線交差点までの延長470m、幅員18mの道路を築造する。その他区間については、継続的に実施して行く予定である。買収面積10,270.74㎡、地権者38名
	平成 19 年度	用地取得 420㎡

事業の 推進状況	進捗 率	～平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	終了予定年度
		用地	用地 84%	用地100% 工事39%	工事100%			平成 21 年度
		見込まれる総事業費(千円)		13,350,532		事業開始からの累計額(千円)		1,041,381

H19 経費	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	305,361	215,202	238,687	704.0

成果 (結果として どうなったか)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	市道3-5号線及び主要地方道川越所沢線の交通量	市道3-5号線(ラク所沢前)、及び主要地方道川越所沢線(美原町3-2944-2前)に観測点を設定。	3296	3296	%
			単位 台	単位 台	単位 %

今後の 方向性 (所管の 意見)	◎事業計画の見直しの必要性・・・ 有り * 無し ◎事業実施方法の見直しの必要性・・・ 有り * 無し
	◎総事業費見直しの必要性・・・ 有り (増額 減額 休止 終了) * 無し

今後の 方向性 (二次評 価の意 見)	二次評価実施の有無 * 有り⇒下記評価へ 無し⇒終了							
	総合 評価	拡充	縮小	統合	改善・効率化	改善余地なし * その他 [計画通り推進]	終了	
	予算	現状どおり		* 増額		減額		終了

平成 20 年度事務事業評価表(公共事業用)

事務事業名		担当 部課	部課コード	070300	TEL	2998-9377
事業コード	北野下富線道路築造事業		道路公園部計画道路整備課			
070302			グループ	用地担当工務担当		
開始年度 平成 6 年度 → 終了年度 平成 28 年度						
事業の種類	<input type="checkbox"/> 土地利用 <input checked="" type="checkbox"/> 土木建設 <input type="checkbox"/> 建築 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 単独 <input type="checkbox"/> 単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 複数年度					
根拠法令	道路法、都市計画法					
分野別計画・指針						
関連・類似事業	松葉道北岩岡線道路築造事業					
総合計画の体系	政策	第2章 安全・安心で快適な住みよいまち	施策	3節 道路	中柱	2 幹線道路の建設
					小柱	(2)市内幹線道路の建設推進
H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 10 位 ・実施計画における位置づけ… H19 A H20 A						
行政改革大綱における行動計画への位置づけ						
コード						
事業開始の背景						
平成4年度の都市交通整備計画において、市街地全体を外郭する環状道路として位置づけ、交通渋滞の緩和を図る。国道463号バイパス小手指ヶ原交差点から都市計画道路東京狭山線までの延長5500m、幅員18mの道路の築造。						

②事業内容	
目的(何のために行うのか、具体的に)	幹線道路の環状型ネットワークを図り、交通渋滞の緩和を図る。
事業開始後の環境変化(人口推移等の社会経済情勢の変化、自然環境の変化等)と対応	土地価格の変動。これに合わせて適切に対応している。
事業の具体的な内容及び実施方法	全体延長が5500mと長いため、事業区間を分け事業の効率化を図る。平成16年度から平成21年度にかけて、市道3-5号線から都市計画道路松葉道北岩岡線交差点までの延長470m、幅員18mの道路を築造する。その他区間については、継続的に実施して行く予定である。買収面積10,270.74㎡、地権者38名
H19	用地取得 420㎡

③事業の推進状況	事業の進捗率(%)	総事業費(予)(千円)																																			
	<table border="1"> <tr> <th>~平成18年度</th> <th>平成19年度</th> <th>平成20年度</th> <th>平成21年度</th> <th>平成22年度</th> <th>平成23年度</th> <th>終了予定年度</th> </tr> <tr> <td>用地</td> <td>用地 84%</td> <td>用地100%</td> <td>工事100%</td> <td></td> <td></td> <td>平成 21 年度</td> </tr> <tr> <td>解決すべき課題とその対応策</td> <td colspan="6">H19までの事業費累計(千円)</td> </tr> <tr> <td>・代替地の確保等。代替地の申し出制度の活用</td> <td colspan="6">1,041,381</td> </tr> <tr> <td>・市道3-5号線から都市計画道路松葉道北岩岡線交差点までの区間は、平成21年度に完了予定であるが、その他区間についても継続的に実施して行く予定である。</td> <td colspan="6"></td> </tr> </table>	~平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	終了予定年度	用地	用地 84%	用地100%	工事100%			平成 21 年度	解決すべき課題とその対応策	H19までの事業費累計(千円)						・代替地の確保等。代替地の申し出制度の活用	1,041,381						・市道3-5号線から都市計画道路松葉道北岩岡線交差点までの区間は、平成21年度に完了予定であるが、その他区間についても継続的に実施して行く予定である。							13,350,532
~平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	終了予定年度																															
用地	用地 84%	用地100%	工事100%			平成 21 年度																															
解決すべき課題とその対応策	H19までの事業費累計(千円)																																				
・代替地の確保等。代替地の申し出制度の活用	1,041,381																																				
・市道3-5号線から都市計画道路松葉道北岩岡線交差点までの区間は、平成21年度に完了予定であるが、その他区間についても継続的に実施して行く予定である。																																					

④経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		234,079	305,361	354,798
	決算(見込み含む)		168,924	215,202	
	正規職員人件費	2.65 人	24,380	2.50 人	23,485
	公債費				
	事業費合計		193,304	238,687	
	財源内訳				
	一般財源		185,054	238,687	327,298
	国・県支出金		8,250	0	27,500
	受益者負担金				
	市債				
	その他				
市民一人当たり(単位:円)			572.1	704.0	

⑤指	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H 20	将来目標
	成果分析	市道3-5号線及び主要地方道川越所沢線の交通量	市道3-5号線(ラク所沢前)、及び主要地方道川越所沢線(美原町3-2944-2前)に観測点を設定。	台	目標値		
				実績	3784	3296	実績値の拡大を図る 実績値の縮小を図る2
達成率	%						
⑥一次評価	成果指標の設定理由及び目標値の考え方	本来、国道463号まで開通して成果が表れるものであるが、暫定措置として松葉道北岩岡線との同時開通により、交通渋滞の緩和を図るため、上記箇所を設置する。年1回測定。測定日平成19年7月11日県道川越所沢線 朝、川越方面536台、所沢方面383台 計919台 夕 狭山方面380台 所沢方面439台 計819台 市道3-5号線 朝、狭山方面345台 所沢方面461台 計806台 夕 狭山方面367台 所沢方面385台 計752台					

⑥一次評価	評価項目	評価内容			
	妥当性	事業の優先度・緊急性	外郭する環状道路を整備することにより、市街地に流入する車輛を減らし、交通渋滞の緩和を図る。		
⑥一次評価	効率性	事業実施手法の効率化及びコスト削減の取り組み	事業区間を定め、早期開通を目指すことにより効率化を図る。		
	効果・便益	事業に要する費用と効果(便益)の比較	詳細な費用便益分析は未実施であるが、渋滞緩和の見込みから試算すると費用を上回る便益が見込まれる。		
⑥一次評価	H 20	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)		時期(いつまで)
	目標設定	残りの用地を取得する。一部工事を発注する。	用地取得率100% 工事進捗率 39%	平成21年3月	
⑥一次評価	総合評価	事業計画の見直しの必要性	<input type="checkbox"/> 見直しの必要有り → <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要無し →	理由及び今後の	21年度に、事業区間の開通に向け地権者の理解を求め、引き続き買収交渉を進めていく。その後、全線供用を目指し事業の推進を図る。
	総合評価	事業実施方法の見直しの必要性	<input type="checkbox"/> 見直しの必要有り → <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要無し →	理由及び今後の	地権者の理解を求め引き続き買収交渉を進めていく。
⑥一次評価	総合評価	し 総 事 業 必 要 費 性 見 直 し	<input type="checkbox"/> 見直しの必要有り⇒(<input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 終了) <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要無し		
	理由	評価理由	当初計画した事業費の中で対応できているため、見直しについては必要なしと判断する。		
評価日		平成20年5月23日	記入者職氏名 主幹 森田 力		

⑦二次評価	事後評価	平成21年度における事業の方向性																				
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input checked="" type="checkbox"/> その他 [計画通り推進] <input type="checkbox"/> 終了																				
⑦二次評価	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input checked="" type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了																				
	事前評価	<table border="1"> <tr> <td>部内優先順位… 1 位</td> <td>非常に高い</td> <td>高い</td> <td>やや低い</td> <td>低い</td> <td>優先度</td> <td><input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業</td> </tr> <tr> <td>見込まれる総計画上位目標</td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td></td> <td><input checked="" type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業</td> </tr> <tr> <td>市長マニフェスト</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td></td> <td><input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業</td> </tr> </table>	部内優先順位… 1 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業	見込まれる総計画上位目標	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input checked="" type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業	市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
部内優先順位… 1 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業																
見込まれる総計画上位目標	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input checked="" type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業																
市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業																
⑦二次評価	評価理由	予定事業の最終年次でもあり、後工事のみを起すものとなるため、計画された供用開始年次での実施を目指すため、「その他(計画通り推進)」「増額」とした。																				
	評価日	9月1日																				

⑧外部評価	《外部評価の実施》	H19 <input type="checkbox"/> H20 <input type="checkbox"/>	※本事業は外部評価の対象になっていません。
	評価		
⑧外部評価	対応		

⑨環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り	計画コード	111	311		
施業体系	1-1-1大気汚染の防止	1-1-1自動車排ガス対策の推進				
	3-1地球温暖化の防止	3-1-1エコ・モビリティの推進				